

大阪大学
21世紀
懐徳堂

アイ・スポット
i-spot 講座

世界の文学 Part.2

2018年度前期のテーマは「世界の文学 Part.2」。

チリ文学、ブラジル文学、そして

小説が描く意識をテーマに

大阪大学の研究者がお話します。

受講料は無料です。お気軽にご参加ください。

i-spot 講座

大阪市と大阪大学が共催する、公開講座

1講座から
受講可能!

受講料
無料
(各回申込制)

全3講座 受講料 無料 定員 各講座30名(申込先着順)

会場 / 大阪市まちづくり情報発信施設「アイ・スポット」(淀屋橋 odona2 階)

7月20日(金) ①19:00-20:30

ワインの国の大詩人 パブロ・ネルーダを 翻訳で読む

松本健二

大阪大学大学院言語文化研究科 准教授

コンビニでも気軽に買えるようになった安価で上質なチリワイン。そのラベルには不思議な小鳥や奇妙な大木がデザインされています。世界でもっとも乾燥した砂漠から南極に近い極寒のパタゴニアに至るまで、この南米の細長い国は優れた文学作品の舞台にもなってきました。なかでも1971年にノーベル文学賞を受賞した詩人パブロ・ネルーダは、チリの自然や風土、政治までを詩に詠んでいます。ワインの国チリの詩を翻訳で読みましょう。

申込受付開始 6月20日(水)

8月3日(金) ①19:00-20:30

ブラジル・モデルニズモ文学とサンパウロ

平田恵津子 大阪大学大学院言語文化研究科 教授

1922年2月、近代化が進み、活気にあふれていたサンパウロ市の市立劇場で「近代芸術週間」が開催されました。ヨーロッパの前衛芸術に刺激されたブラジルの若い詩人や音楽家、美術家が集まって、自国の芸術の革新を唱えたこの催しは、保守的な人たちの強い反発を招く一方で、新しい表現を模索するモデルニズモ運動がブラ

ジル各地に広がるきっかけとなりました。今回は、モデルニズモ初期の文学作品を紹介しながら、当時のサンパウロの熱気をお伝えしたいと思います。

申込受付開始 7月3日(火)

8月22日(水) ①19:00-20:30

映画から草稿へ 意識の流れと デカルト劇場

石割隆喜

大阪大学大学院文学研究科 准教授

20世紀初頭に活躍した欧米のモダニズム作家たちによる人間の内的世界とりわけ意識の描写は生々しいリアリティを読者に感じさせるものでした。彼ら彼女らは意識の「流れ」をそのまま描写する技法を手に入れたからです。しかし、今日の認知科学は「意識の流れ」という考え方に修正を迫っています。意識は多数の「草稿」の上に成り立っているというのです。現代の科学と哲学が提示する意識についての新しい見方から、小説が描く意識を読み直してみたいと思います。

申込受付開始 7月22日(日)

